

○議長（堀内春美さん）

続いて通告２番 ３番 依田誠司君の一般質問を行います。

３番 依田誠司君。

○３番議員（依田誠司君）

それでは質問に入らせていただきます。今日は一問だけですけど青柳町東部開発についての質問です。

富士川町増穂地区の東部は１９９７年の富士川大橋の開通、甲西バイパスの整備、そして中部横断自動車道の山梨南北間の全線開通により、かつては３０万平方メートル３０丁歩と言われてました。農地が広がる田園風景から一変し、街の賑わいの中心として発展を遂げてきています。２０２１年８月２９日、中部横断自動車道の山梨南北間の全線開通により、沿線市町では、企業誘致、商業施設の開業などの施策を展開し、経済の発展に力を注いでいます。

一方、富士川町を見ると、中部横断自動車道の開通を起爆剤とした企業誘致や、土地利用計画などの施策が展開が見えてきません。乱開発が進んできて、遊休農地も放置されています。フォレストモール周辺の市街化をさらに進めていくのか、それとも町の玄関口を大規模農地や農園として生かしていくのか。居住地域にするのか、工業地域にするのか、その他の活用を考えているのかを、町の計画が見えません。中部横断自動車道が静岡まで繋がり、リニア中央新幹線は、品川名古屋間が２０３４年に開通予定です。品川甲府間はそれよりも早く先行開業が見込まれます。このような状況も加わり、企業活動、観光などの人的交流、物流などの活動が非常に活発になっていくのは明白だと思います。この機会に基本的な開発が決まっていないのは我が町の大きな損失であり、早急に方向性を決めていくことが肝心だと思います。

それでは最初の（１）の質問に入ります。年々住宅開発などが進んでいるが、町はどのような開発をしていきたいのか伺います。

○議長（堀内春美さん）

都市整備課長 井上勝彦君。

○都市整備課長（井上勝彦君）

ただいまのご質問にお答えします。町の東部地域につきましては、平成２１年度に中部横断自動車道や一般国道５２号の整備が進展する中で、大型商業施設の計画が進行し、それに伴い、建築物を誘導規制する措置として、約１９ヘクタールの用途地域を拡大してまいりました。

また、令和３年度には、中部横断自動車道の山梨静岡間が全線開通し、県内の施設並びに道の駅富士川にも県内外から多くの観光客が訪れている状況であります。

さらに、中部横断自動車道沿線地域においては、高速道路への良好なアクセス性を背景に、近年は工場や物流センターなど、多くの企業の進出があり、地域の雇用創出や産業振興への貢献が見られております。こうした背景から、中部横断自動車道沿線では、経済の波及効果を生む多様な展開が期待されていることを踏まえ、東部地域においても発展に向けた方針を検討してまいりたいと考えております。以上です。

○議長（堀内春美さん）

依田誠司君。

○3番議員（依田誠司君）

再質問です。ということは、今の時点では計画はないということですか。

○議長（堀内春美さん）

都市整備課長 井上勝彦君。

○都市整備課長（井上勝彦君）

ただいまのご質問にお答えします。現時点においては、計画はございません。以上です。

○議長（堀内春美さん）

依田誠司君。

○3番議員（依田誠司君）

わかりました。次の質問に入ります。（2）農振農用地に設定されている土地が多くあるが、除外をどのように図っていくのか伺います。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 望月奈緒美さん。

○産業振興課長（望月奈緒美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。町では農業の振興の農業、失礼いたしました。町では農業振興地域の整備に関する法律に基づき、農業の振興を図ることを目的に富士川農業振興地域整備計画を策定しております。

この計画において、農業上の利用を確保すべき土地として、農用地区域、いわゆる農振農用地を設定しております。現時点で、町の施策として、青柳町東部の農振農用地に設定している土地を、農業以外の目的で活用するための土地利用の物具体的の方針が定まっていないため、除外を図ることができない状況でございます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

依田誠司君。

○3番議員（依田誠司君）

再質問です。では、土地利用の具体的な方法方針をどのように定めていくのか伺います。

○議長（堀内春美さん）

町長 望月利樹君。

○町長（望月利樹君）

ただいまの質問にお答えいたします。今後の開発については、地権者や農業者の意向を最優先に考慮し、地域の実情や希望をしっかりと把握した上で土地利用審議会において、土地利用の方向性を検討する必要があります。

こうした背景を踏まえ、実現可能で、地域に根ざした具体的な土地利用方針を策定し、良い地域作りを目指してまいります。地域の皆様と協力し全体の調和を図りながら、実効性のある施策を推進していく所存です。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

依田誠司君。

○3 番議員（依田誠司君）

再質問です。今の状況を考えると、開発計画を描いていくことが近々の課題だと思いますので、スキルスピード感を持って進めていってください。さらにどのような地域にしていきたいのか、もう少し具体的な考えをお聞きしたいのですが、町長はいかがでしょう。

○議長（堀内春美さん）

町長 望月利樹君。

○町長（望月利樹君）

ただいまの質問にお答えいたします。歴史を紐解きますと、かつて富士川舟運のときにですね、我が町が繁栄したこのキーワードはですね、鰍沢河岸青柳河岸こういった交通インフラのときにですね、うちの町が拠点となるような仕掛けをですね、当時の、おそらく当時の政治に携わっている方々が仕掛けて、そして我が地域にその河岸というものを持ってきた、こういうおそらく、当時の政治が動いたからこそあの富士川舟運のときの河岸がうちの町に来た。

他の富士川沿線でもですね、例えば葦崎の方も河岸を作りたかったけど結局認可されなかった。こういうやっぱり政治の力でですね、しっかりとその地域に拠点もしくは賑わいを持ってくるということをですね、やらなきゃいけない今の時代に照らし合わせますと、中部横断自動車道が開通いたしました。

またリニアの開通も間近でございます。この瞬間ですね、我々は政治の責任としてですね、わが地域にそういった拠点を持ってくるこういう作業をしなければ後世のためにですね、こういう拠点を持ってくる作業をしていきたい。そのためには議員のご指摘の通り、青柳の東部ここはですね我が町の最後のフロンティアだと私は思っております。ですからここを乱開発させるのかこのままですね、それともしっかりと行政が計画を作ってしっかりと方向性を作っていくのか、こういう作業ですね。まさにスピード感をもって進めなければ大きな損失になっていくというふうに思っているところでございます。

まだ今ならギリギリ間に合うと思います。この沿線の開通効果をですね、中部横断道沿線の開通効果をしっかりと波及させるような開発をしていきたい。しかしながらですね、これを行政主導で進めていく、行政が先に突っ走ってしまうという手法、これは時代に合わないというふうに思っております。地権者の方もいらっしゃいます。また地域住民の方もいます皆さんの思いがあります。

そういった中で、ここを大規模農園ということで、今の農振の網がかかっている状況の中で農地として生かしていこう、もしくは、工業団地として生かしていこう、もしくは市街地としてまたは住宅地として生かしていこう、またフォレストモール周辺の賑わいをですね、さらに広げていくためのショッピングセンター等の開発をしていこう。こういう方向性をですね、まさに今すぐに手をつけなきゃいけないというふうに思っております。

議員からの質問をですねこれを皮切りに我々のこの地域をですね、後世に向けて、この山梨県内の中心地となるようなこういうビジョンを、しっかりと描いていけるような方向性を作っていきたいなというふうに思っているところでございます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

依田誠司君。

○3番議員（依田誠司君）

はい町長のお考えはわかりました。ただ自分個人としては、まだ計画がないというんですから、ちょっと遅いなどだからもう早急に計画を立てて、もちろん住民地権者の意見も聞いてなんですけど、もう同時進行くらいで、4案5案でも、まず早急に取りかかってほしいと思います。決まったらすぐに遂行していただきたいと思います。以上で質問を終わります。

○議長（堀内春美さん）

以上で通告2番 3番 依田誠司君の一般質問を終わります。

---